

電子地域通貨「桐ペイ」について（新規）

桐生市の商業は、商圈人口の減少・高齢化や、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化に加え、不安定な国際情勢と記録的な円安などによる物価高騰により、飲食業、小売業だけでなく様々な企業に影響が出ており、消費需要の低迷やIT技術の発達等による消費行動の多様化も重なり、大変厳しい状況が続いております。

桐生市におかれましては昨年度、キャッシュレス化による新しい生活様式への対応と地域経済の好循環を生み出すこと等を目指し、電子地域通貨「桐ペイ」を導入されました。そしてプレミアムポイントを含む5億2,950万円の通貨を発行され、続いて桐生市電子通貨カード配布事業として1人5,000円分が市民に配布され、商業振興に多大な成果を上げたところでもあります。

つきましては、今後も物価高騰などの影響が続いていくことが懸念されますことから、商業の活性化には欠かすことの出来ない消費の喚起・購買意欲の拡大につながる施策を、今年度も実施していただきますよう、強く要望いたします。なお、桐ペイ利用のメリットが伝わっておらず、使い方で修正・取消などの説明が不十分であったことなど、取扱店舗や市民へのわかりやすい説明や、今後の利用にあたりポイント付与についても他の事業とあわせた活用方法など、ご配慮をいただきたく、併せてお願い申し上げます。

また、電子地域通貨を活用した商業振興策に関しまして、みどり市との連携についてもぜひご検討をお願いいたします。桐生・みどり両市民は生活圏を共有しており、今後、みどり市で電子地域通貨事業が実施される場合は、「桐ペイ」加盟店でも取り扱えるようにすることで利用の促進に繋がり、利用者並びに加盟店にとってメリットになるはずで、「桐ペイ」の加盟店にとっては域外の顧客獲得にもつなげることが期待できますので、桐生市としても、何卒みどり市に働きかけいただけますようお願いいたします。

桐生市からの回答

桐ペイにつきましては、今年度、既に30%プレミアムキャンペーンを実施したところであり、今後も消費の喚起・購買意欲の拡大につながる施策を実施していく予定です。特に本年は、桐ペイの仕組みを広く一般に開放し、商店街の販売促進イベントなどにご利用いただける、桐ペイ「だれでもポイント」事業を整備するなどし、更なる普及促進に向けた施策を実施しているところであります。更に、市役所の各部署においても、桐ペイを活用した健康ポイント事業や環境ポイント事業等の新規事業に加え、既存の事業を桐ペイのポイント付与に切り替えるなど、市内経済の好循環に向け、市役所が一丸となって桐ペイを盛り上げようと努力しております。

ご指摘いただきました、取扱店舗や加盟店への説明につきましても、5月から7月末にかけて、本町4丁目のギャラリー禅林において、まちなか出張窓口として、市役所まで来なくても、気軽に相談をお受けできる機会を設けております。今後も、桐ペイの普及に向け、利用者や加盟店に対しプッシュ型のフォローを充実させてまいります。

また、電子地域通貨のみどり市との連携につきましては、ご指摘いただいたとおり域外

の顧客獲得につながるというメリットもある反面、投入した資金が必ずしも桐生市内だけで消費されないといった大きな課題もあります。電子地域通貨を活用した地域間の連携による商業振興策として、課題を克服し実施していくためにどのような対応ができるのか、今後、商工振興課等の関係各課とも協力し、研究してまいります。なお、現行においても、桐ペイのチャージについては、利用者の居住地を問わず行うことができ、域外のお客様の獲得や定着にも寄与しているものと考えております。

[回答担当] 総務部DX推進室桐ペイ推進応援担当

令和4年度に導入した桐生市電子地域通貨「桐ペイ」は、プレミアムポイントキャンペーンや電子地域通貨カード配布事業の実施により、地域経済の好循環の創出のほか、交流人口や関係人口の増加にも大きな成果がありました。

さらに、令和4年11月に中心商店街で開催された「100円商店街 in 桐生」に合わせて実施したイベントポイントキャンペーンでは、相乗効果により、中心商店街の賑わい創出と市内消費の拡大につながったものと考えております。

令和5年度におきましては、「桐ペイ」通常チャージや「桐ペイ」誰でもポイント発行事業などの新しい取組も実施されるなど、より使いやすく親しみやすい制度になっております。

現在、およそ700店舗の事業者の皆様加盟店としてご登録をいただいておりますが、今後も関係部署と連携して「桐ペイ」の取組の周知に努め、地域経済の好循環と市内消費の拡大につなげてまいりたいと考えております。

[回答担当] 産業経済部商工振興課商業金融担当